

平成24年度国立特別支援教育総合研究所セミナー 参加のご案内

特別支援教育の現状と課題

—共生社会の形成に向けた特別支援教育を考える—

- ◇ 期 日 平成25年1月29日（火）・30日（水）
- ◇ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
- ◇ 定 員 700名
- ◇ 主 催 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

国立特別支援教育総合研究所では、研究活動等の成果普及や質の向上、教育現場等教育関係者・関係機関との情報の共有を図るため、毎年度「国立特別支援教育総合研究所セミナー」を開催することとしています。平成19年度に「特殊教育」から「特別支援教育」への発展的転換が図られ5年余りが経過しました。この間、関係者の弛まぬ努力により、特別支援教育が目指したねらいは着実に達成されつつあると考えられますが、平成24年7月の中央教育審議会初等中等教育分科会報告に見られるように、インクルーシブ教育システム構築への取組を見据え、今後の一層の進展を図る上での課題も見えてきました。

平成24年度の研究所セミナーは、1日目には、文部科学省からの行政説明に引き続き、セッション1「シンポジウム」として、特別支援教育の更なる進展のために、関係者がそれぞれの立場で、また、連携し協力する中で、どのような取組を進めていくべきかについて意見交換をすることとしました。次いで2日目には、セッション2「研究・トピック紹介」として、インクルーシブ教育システム構築に関連した研究経過並びに聴覚障害及び発達・情緒障害教育のトピックを報告するとともに、セッション3「研究成果報告」として、三つの研究課題についての分科会を設定しました。

実り多い機会となりますよう、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 程

<1日目> 平成25年1月29日（火）（カルチャー棟：大ホール）



<2日目> 平成25年1月30日（水）（カルチャー棟：大ホール、小ホール センター棟：417）



* ポスターは、2日目の朝より掲示する予定です。

* ポスター発表は昼食休憩の時間の一部（12:30～13:15）を利用して行います。

■このご案内は本研究所のホームページ(<http://www.nise.go.jp/>)にも掲載しております。

プログラム 1日目 1月29日13:00~17:15

【行政説明】 特別支援教育行政の現状と課題

13:15~14:00

【講師】 大山 真未 氏 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長

【セッション1】 シンポジウム

14:10~17:10

このシンポジウムでは、特別支援教育の5年間を振り返り、現状と課題を確認するとともに、今後を展望します。まず、幼児教育から後期中等教育段階までの特別支援教育の状況を概観するために、各教育現場からの話題提供をいただきます。続いて、本研究所のこれまでの研究等も踏まえ、今後の特別支援教育の更なる進展のために、それぞれがどのように連携し取り組んでいくべきかについて意見交換をします。

司会 松村 勘由、大内 進 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

シンポジスト

荒木 尚子 氏 墨田区立緑幼稚園 園長 (全国国公立幼稚園長会会長)

露木 昌仙 氏 台東区立台東育英小学校 校長 (全国連合小学校長会会長)

三町 章 氏 新宿区立西早稲田中学校 校長 (全日本中学校長会会長)

河本 真一 氏 中野区立上高田小学校 校長 (全国特別支援学級設置学校長協会会長)

尾崎 文雄 氏 兵庫県立阪神昆陽高等学校・同特別支援学校 校長 (全国高等学校長協会)

兵馬 孝周 氏 東京都立青鳥特別支援学校 校長 (全国特別支援学校長会会長)

柘植 雅義 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

2日目 1月30日 9:30~16:00

【セッション2】 研究・トピック紹介

9:30~12:00

ここでは研究所が取り組んでいる現在の研究活動と、各障害分野における研究や実践に関するトピックを紹介します。前半は、平成23年度から開始した、インクルーシブ教育システム構築の課題に関わる二つの研究が、ほぼまとめの段階に入ったことから、この2課題について、これまでの研究活動から得られた成果を紹介します。

後半は、障害種別専門分野のうち、聴覚障害教育及び発達障害・情緒障害教育の各分野における研究や実践に関するトピックを紹介します。

司会 牧野 泰美 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

【研究所の研究活動】

西牧 謙吾 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

【研究経過報告】

- ・専門研究A「インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別な支援を必要とする児童生徒への配慮や特別な指導に関する研究」

藤本 裕人 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

- ・専門研究A「インクルーシブ教育システムにおける教育の専門性と研修カリキュラムの開発に関する研究」

澤田 真弓 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

司会 原田 公人 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

【トピック】

- ・聴覚障害教育分野

庄司美千代 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

- ・発達障害・情緒障害教育分野

梅田 真理 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

ポスター発表

12:30~13:15

本研究所の平成23年度終了研究課題(専門研究A・B)等の成果を、ポスター等により直接、所内研究担当者から説明します。於: ギャラリー展示コーナー

第1分科会 障害のある子どもの理解と指導及び支援の充実のための ICF (国際生活機能分類) の活用

特別支援学校の学習指導要領等の解説では、WHO(世界保健機関)のICF(国際生活機能分類)の考え方を踏まえた指導や必要な支援、及び関係者間での適確な実態把握や共通理解での活用等、様々なICFの活用について述べられました。

本分科会では、まず、ICF及びその児童版であるICF-CYの考え方を実践につなげていくための活用支援ツールの実証や、様々な障害種や学校種での活用等について検討した研究の成果を報告し、その中で、検証を行った活用支援ツールについても紹介します。続いて、特別支援学校及び小学校における活用実践を報告し、それらを基に子どもの理解と指導及び支援の充実のためのICF及びICF-CYの活用の在り方について協議を行います。

研究報告 徳永亜希雄、金子健、松村勘由(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

実践報告 小林 幸子 氏 静岡県立富士特別支援学校 教諭

溝端 英二 氏 和歌山県立紀伊コスモス支援学校 教諭

石川 誠 氏 静岡市立番町小学校 教諭

指定討論 山元 薫 氏 静岡県総合教育センター 指導主事

丹羽 登 氏 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官

第2分科会 障害のある子どもの自立と社会参加をめざした 進路指導・職業教育

特別支援学校では、障害の重度・重複化、多様化への対応が求められている中で、地域や関係機関との連携の下、進路指導・職業教育の充実を図っていくことが重要です。

本分科会では、まず、特別支援学校高等部(専攻科)における進路指導・職業教育の実践について全国調査の結果を報告し、続いて、本研究で提案した進路指導・職業教育支援プログラムの四つの柱(校内連携、関係諸機関との連携、卒業後の支援、保護者(家族)への支援)の取組と課題について実践報告を行います。

研究報告 原田公人、柳澤亜希子(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

実践報告 秋山 秀二 氏 千葉県立千葉特別支援学校 教諭

井上 通子 氏 大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 教諭

藤井 茂樹 氏 パームこどもクリニック 顧問

第3分科会 特別支援学校(知的障害)高等部における 知的障害の状態が比較的軽度の生徒への支援

特別支援学校(知的障害)高等部では、知的障害の状態が比較的軽度(以下「軽度知的障害」と言う)の生徒が増え、社会的及び職業的自立の促進を踏まえた教育的対応が課題となっています。

本分科会では、まず、特別支援学校(知的障害)高等部における軽度知的障害のある生徒に対する教育課程についての研究成果と実践事例を報告し、続いて、「特別支援学校(知的障害)高等部に在籍する軽度知的障害のある生徒に対する教育はどうあるべきか」をテーマにパネルディスカッションを行います。

第1部 研究報告 工藤傑史、菊地一文、涌井恵(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

実践報告 眞部 知子 氏 福島県養護教育センター 所長

尾崎 祐三(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

第2部 パネルディスカッション

パネリスト 眞部 知子 氏(前掲)

尾崎 祐三(前掲)

中田 正敏 氏 明星大学 特任准教授

竹林地 毅 氏 広島大学 准教授

◇ 参加申込み

(1) 申込要領

参加申込は、本研究所のホームページ(<http://www.nise.go.jp/>)において、直接お申し込みください。なお、インターネット環境にない場合などはFAXでの申込みも可能です。申し込みに当たっては、参加日、希望分科会（第2希望まで）、氏名（ふりがな）、所属・職名、連絡先電話番号をお知らせください。

また、本セミナーへの参加に当たり、手話通訳、車いす等特別な配慮を必要とする場合は、申込時にその旨をお知らせ願います。

参加申込を受け付けましたら、後日メール等にてお知らせします。

(2) 申込み期間

平成24年12月1日（土）～平成25年1月10日（木）

※ 12月1日以前の申込は、受付いたしませんのでご注意ください。

(3) 定員等

700名

※ 先着順で受け付け、定員を超えて受け付ける場合は小ホールでの映像視聴となります。

なお、参加に当たって、録音・撮影はできませんので、ご留意願います。

(4) 参加費

無料

(5) 宿泊・昼食

宿泊が必要な場合は、各自で手配してください。

また、昼食はセンター内の食堂等をご利用ください。

※ ホール内での飲食はできませんが、会場のロビーはご利用いただけます。

(6) 問い合わせ先

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

総務部企画調整課企画係

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

電話 046-839-6808

FAX 046-839-6919

e-mail seminar@nise.go.jp



国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL(03)3469-2525(代表) FAX(03)3469-2277

[交通案内]

■小田急線 参宮橋下車 徒歩約7分

■京王バス

新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車

渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車

■地下鉄千代田線 代々木公園下車 [代々木公園方面4番出口]

(徒歩約10分)